

## ミニ茶話会(10/12・11/10)の企画案

---

「福祉の学び舎事業」は江南区の区づくり予算で行う3年間の事業で、今年度が最終年です。過去2年間は交流会開催などにより、区内の福祉活動の現状把握と理解・共有を図るとともに、異分野(業種)とのネットワークを広げる活動を行ってきました。今年度は事業の総括として、

### 「地域福祉の未来を語る！」

を重点テーマとして設定しました。実施事業としては大きく3つとしています。

- (1) 江南区保健福祉総合センター 基本構想検討会議
- (2) ミニ茶話会の開催
- (3) 福祉のネットワークづくり交流会の開催

前回の企画運営委員会では、ミニ茶話会(全2回)のテーマのアイデアを出し合いましたが、どれも魅力的であり決めることはできませんでした。しかし、「現状を変えるヒント」になるものが多く、「地域福祉の未来を語る」ことにつながりそうです。そこで、ミニ茶話会のテーマを以下の4つに絞りました。本日の企画運営委員会ではこの提案をたたき台として、ミニ茶話会のテーマを検討・決定します。

### ■ミニ茶話会テーマ案

- (1) 配食サービスガイドブック発行後の状況と効果、今後の可能性について

ガイドブックを発行したことによって生まれたことや現在の状況、新しいアイデアなどについて情報交換・意見交換します。

- (2) 日常的な“見守り”と緊急(災害)時のあり方について

度重なる災害によって、日常的な“見守り”とともに緊急(災害)時の対応に不安を持つ人は多いと思います。昨年度のミニ茶話会の内容を踏まえながら、平常時と緊急時の“見守り”についてざくばらんに話し合います。

(高齢者、子ども、障がい者などに分けるかどうかは未定)

(3) (仮称) 保健福祉総合センターを良くするための取り組みについて

検討会を経て「基本構想」がまもなくできあがり、建設に向けて動き出していますが、建物ができればいいというものではありません。区民の福祉の向上のためにどんな使い方をしていくか、区民自身ができることは何か、完成までにどんなことができるか、などを話し合います。

(4) ボランティアや支援活動の「はじめの一步」と継続について

ボランティアを増やしたいと思う人が多くいる一方、やりたいと思う人や関心がある人との接点がなかなかつかめないでいます。いま一度、それぞれの立場の“想い”や踏み出せない現状などを整理してみます。

※ミニ茶話会日程（時間・会場は未定）

第1回目： 10月12日（水）

第2回目： 11月10日（木）

【参考】第13回企画運営委員会（5/13）で出された「ミニ茶話会」テーマ候補

- 障がい児の就労支援について話し合いたい（現在「ふれジョブ」に関わっているが少し停滞気味なので）。
- 他の地域の「お茶の間」や「いきいきサロン」がどんなことをやっているのか知りたいので、交流をはかりたい。
- 配食サービスについてもう一度やってはどうか。昨年ガイドブックを作ったので、つながることができるといい。実際のマッチングのやり方などを話し合いたい。
  - 「ころころ53」では、ガイドブック掲載のお弁当などを試しに月1回取ってみることにした。
- “見守り”についてはもう一度やってもいいかもしれない。
  - ・もう少し的を絞って
  - ・サポートできる体制づくり、助け合いについて
- ひとり暮らしのお年寄りに対するサポートのヒントについて
- 地域の困りごとに対してお助けできる人たちを増やす方法などを話し合いたい。
- 震災があったので防災のことも考えたい。福祉避難所はどうあるべきか、など。
  - 社会福祉協議会を中心にして検討する会があるようだ。
- “楽しい”節約の知恵をわかちあいたい。「もったいない」の目線は大切。ヒントを得たい。
- ボランティアについて考えたい。
  - ・学生や時間のある高齢者、子ども達などボランティアができる人がいそうだし、自分たちも力を貸してほしいと思うが、どうしたらいいか。
  - ・いま住んでいる地域でできるだけ長く住み続けるためには、どのような協力が必要なのか。
  - ・高齢者の買い物支援や見守りについて
- 青少年の地域との関わりについて
- 子育て関連で
  - ・子育てが終わった人たちが地域ボランティアとして子育てサロンに回帰するようなくみができないものか（子育てのその先を考えたい）。
  - ・若いお母さん方は身体を動かす（のぼす）機会を求めている。そのヒントが得られるといい。お茶の間やサロンは高齢者向けだと思われがちだが、先日参加する若いお母さんがいて、高齢者向けの体操やヨガが役立つことがわかった。
    - “垣根”を超えることができるし、新しい可能性が広がる。